

I 施設の設置・運営事業《公益目的事業(WAC事業)、その他事業1・2》

- 公益目的事業：WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営
- その他事業1：疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者(全利用者の3割相当)に該当する部分
- その他事業2：介護老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター(奈良事業のみ)

\*WAC(ウェルディングコミュニティ)事業:

1989年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

(1) 奈良事業

(厚生労働省WAC認定事業：1990年10月17日付)

① 疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイ・アーク西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中ですが、引き続き地域会員の退会防止を軸に、少人数かつ短時間で「ジムスモールエクササイズ」などの新たな取組も導入し、新規入会を促進します。
- ・地域会員数増加に向けた、コストパフォーマンスの高い地域情報誌の活用や強化エリアを選定してのチラシのポスティングなど、広報・宣伝活動を継続して強化していきます。
- ・定期的な館内のリニューアルを計画し、「安全」「清潔」「便利」な施設設備を整え、顧客満足度の向上を図ります。

② 診療所 (WAC第1号施設付置診療所) 【ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・河合町からの協力依頼で、一般住民の新型コロナウイルスの個別接種を引き続き実施し、行政との協力体制、地域貢献に努めます。(個別接種は河合町内で2医療機関のみ実施)
- ・入院は、在宅部門との連携を更に強化、レスパイト入院の受入れを行い、地域貢献に努めます。
- ・外来は、4月より皮膚科を新規開設し、ご入居者・近隣住民等の受け入れを行い、特に皮膚トラブルが多い高齢者サービスに繋げていきます。

③ 高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設) 【ふれあいプラザ】

○地域社会との連携・交流

- ・行事企画数、内容の見直しを図り、感染予防を最優先に考え、安全対策を十分に行った上で講座・イベントを開催します。
- ・各分野の新規講師の招聘に向け、引き続き検討を進めながら新規企画を立案し、中期的な文化教養講座の安定的開催を目指します。

④ 在宅介護サービスセンター (WAC第3号施設) 【ニッセイせいれい在宅介護サービスセンター ベル西大和店】

○地域社会との連携・交流

- ・河合町や近隣の地域包括支援センター・居宅介護支援事業者等との交流を深め関係性を構築し、更なる利用者の拡大を図ります。
- ・登録ヘルパーの高齢化からケアサービスの受入を断らざるを得ないことがあるため、人材確保を多様化し有資格者の掘り起こし等に取り組んでいきます。

⑤ 有料老人ホーム (WAC第4号施設) 【奈良ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・近隣の河合第二小学校児童の下校見守りボランティアをご入居者・職員で継続して実施していきます。
- ・地域との災害時における防災協定締結(高塚台1・3丁目自治会)により更に協力体制を強化し、地域での防災訓練や清掃など各種活動にも積極的に参画します。
- ・「エデン版地域包括ケアシステム」においては、いきいき生活室を中心とし、ご入居者ボランティア「虹のわ」の活動を活性化し、生きがい作りや助け合いの精神を育ていけるよう取り組みます。また、河合幼稚園の園児や地域住民との交流を更に深めていき、高齢者や子供たちが安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- 理念である「健康・生きがい・安心」のある生活を感じて頂けるよう健幸生活(造語)の推進を継続します。特に命と尊厳を守ることは、認知症ケアやアドバンス・ケア・プランニング(人生会議)が重要で、しっかりと学び正しく理解した上で取り組んでいきます。
- 働き方改革への取組の継続と、深刻化を極める採用困難に対応するため、ICT化、障がい者・外国人雇用など“多様な働き方”に対応する環境整備と共に、採用力と定着率の向上への取り組みを推進します。
- 新型コロナ・ノロウイルス等の感染症予防、防災・防犯対策の徹底と、コンプライアンス遵守を意識した運営を引き続き行います。
- 開園30周年記念(2022.4.7)の取り組みとして、年間を通してご入居者に喜んでいただける記念行事等が開催できるように進めていきます。

⑥ 介護老人保健施設 (WAC併設施設) 【奈良ベテルホーム】

○地域社会との連携・交流

- ・在宅復帰、在宅支援を行うにあたり、在宅生活を見据えたサービスの提供を多職種協働のもと、機能向上、自立支援を継続的に実施します。
- ・コロナ禍で未確定な部分はあるものの、河合町や社会福祉協議会と連携し、地域支援事業への参画とボランティア活動を再開します。
- ・SDGsの取り組みを継続し、地域に貢献します。
- 「在宅強化型老健」として入所、通所リハビリテーションの稼働率を落とさないために、コロナ禍であってもできることを再度見出し、相談員と現場職員が共同して取り組み、経営の安定を目指します。
- ご利用者に安心して利用いただくため、新型コロナウイルス感染防止を職員全員で意識し、陽性者が発生した場合でも迅速に対応できるよう、感染想定訓練を毎月実施して引き続き感染対策に努めます。

**⑦訪問看護ステーション（WAC併設施設）** 【 訪問看護ステーション西大和 】

○地域社会との連携・交流

- ・感染対策を継続強化しながら柔軟な対応を心掛け、地域で選ばれる訪問看護を目指し、安定経営の維持に取り組みます。
- ・難病・ターミナル等重度利用者の受入れや各職員に応じた研修・勉強会の強化、マニュアルの整備など質の高いケア提供を目指します。

**⑧ケアプランセンター（WAC併設施設）** 【 ニッセイせいいれいケアプランセンター西大和 】

○地域社会との連携・交流

- ・ICT機器の活用継続と、河合町と連携した地域防災強化への取り組みを在宅サービス室全体で行います。
- ・利用者満足度調査や、第三者評価を行い、選ばれる居宅介護支援事業所の運営を目指します。

**②松戸事業**（厚生労働省WAC認定事業：1994年12月15日付）

**①疾病予防運動センター（WAC第1号施設）** 【 ニッセイセントラルフィットネスクラブ 松戸 】

○地域社会との連携・交流

- ・感染症対策を強化し、「安心・安全」のクラブ運営を進めます。また「エデン入居者限定イベント」等も企画するなど、感染予防の中での健康増進に努めます。
- ・変化しつつあるスポーツクラブの運営状況を敏感に察知し、効率運営（労務費、水道光熱費、消耗品費等の見直し）を継続的に実践して参ります。
- ・松戸市健康増進イベントへの協力を継続します。また感染対策を十分に講じた上で地域イベントに参加し、地域活性・地域貢献に努めます。

**②診療所（WAC第1号施設付設置診療所）** 【 松戸ニッセイ聖隷クリニック 】

○地域社会との連携・交流

- ・各課との連携を強化し、それぞれの職種の特性を活かしたチーム医療を実践してご入居者、ご利用者へ安心・安全な医療を提供します。
- ・感染予防、感染拡大防止を徹底して外部からの受け入れを行い、地域への貢献、地域医療連携の充実に努めます。

**③高齢者総合福祉センター（WAC第2号施設）** 【 ニッセイ松戸アカデミー 】

○地域社会との連携・交流

- ・これまで蓄積してきた介護予防に重点を置いたノウハウを地域にお住いの方にも還元できるイベント企画の継続と、気軽に参加頂ける短期イベントを新規に開催していきます。
- ・感染防止の観点からご自宅からでも参加できるように、オンラインイベント（リアルタイム配信/アーカイブ配信）としてコンサートや講演会を定期的に配信していきます。
- ・イベントに合わせて地域の障がい者施設や福祉施設の出張販売場所として積極的に活用してもらうことにより、地域支援・交流に貢献します。

**④在宅介護サービスセンター（WAC第3号施設）** 【 ニッセイエデンヘルパーステーション 】

○地域社会との連携・交流

- ・介護支援専門員など関連機関との連携を密にし、感染・災害時の事業継続に向けたマニュアル作成及び体制整備に取り組みます。
- ・県、市等が主催する意見交換会やサービス提供事業所向け説明会・専門研修等にオンライン参加し、情報収集・スキルアップに努め、地域のご利用者の在宅生活を支援します。

**⑤有料老人ホーム（WAC第4号施設）** 【 松戸ニッセイエデンの園 】

○地域社会との連携・交流

- ・新型コロナウイルスの感染が蔓延している時こそ、隣接する東松戸病院や松戸愛光園とも連携を図りながら、物資や人材の相互支援体制を構築し、地域での感染拡大防止に努めます。
- ・フードバンクの活動を継続し食品ロス削減に繋げるとともに、食料や物資の支援などを通じてSDGsを意識した社会への貢献活動を行います。また、障がい者雇用、外国人労働者雇用を継続し、社会的責任への取り組みの充実に努めます。
- 松戸ニッセイエデンの園に関わるすべての人々が共有し遂行する目標として定めた「松戸ビジョン」の具現化を図り、すべてのご入居者にとって「我が家」となる施設の実現を目指します。
- コンプライアンスの徹底と、ご入居者を守るための感染予防や感染拡大防止対策、防犯対策の徹底を継続します。
- 介護居室へ導入する「見守りシステム」を本格稼働させ、サービス向上や業務効率化につなげます。
- 高騰する材料費の適正化に注力しながら、「選ばれる食堂」に向けて喫食率アップを目指します。
- 入居検討時から最期までその人らしいライフスタイルを尊重したシームレスなサービス体制を提供します。
- 2022年度竣工予定の新4号館（介護居室：37戸→43戸の6戸増）を有効活用し、一人でも多くのご入居者をお迎えいたします。
- 感染対策を徹底しエデン内ボランティア活動（エデンサポーター）を再開し、一般居室と介護居室のご入居者同士の交流機会増加と生きがい増進を目指します。

**Ⅱ 調査研究事業 《 公益目的事業 》**

**(1) WAC事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供**

- WAC事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施します。
  - ・長引くコロナ禍の影響で、高齢者の交流も減少傾向にあることを踏まえ、2022年3月より京都大学の協力を得て、「高齢期におけるスマートフォン活用の効果に関する実証研究」を奈良ニッセイエデンの園内で開始しました。当研究を通じ高齢者の「QOL向上」や「ICT機器活用促進」につなげます。
- 聖隷福祉事業団・日本老人福祉財団と共催する「有料老人ホーム実践研究発表会」にて、各施設の研究成果を通じて情報共有を行い、よりご入居者に満足いただける施設運営を模索します。

**(2) 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施**

- 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーを開催するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへの参加を行います。
- 11月の「介護の日」では、奈良・松戸両施設内にて介護イベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取り組みを継続します。

**Ⅲ 奨学金助成事業 《 公益目的事業 》**

- 介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給します。